

# 地域で出来る防災対策



は最も寄りの振興事務所まで、相談ください。  
**④ 地域の交流を大切にしよう**  
災害が発生または発生の恐れがある場合に、障がいのある人や介護認定を受けている高齢者等の人は自力の避難が困難であり、支援が必要とされています。災害時にスムーズな支援活動をするために、日頃から地域行事に参加する等、日常的にコミュニケーションを把握や、緊急時に必要な支援等を確認しておこうようにします。

## 「防災週間」に合わせて地域の防災力を高めましょう

9月1日は大正12年に、10万人以上の死者、行方不明者の被害をもたらした「関東大震災」にちなんで「防災の日」とされており、この「防災の日」を含む1週間(8月30日～9月5日)は「防災週間」として様々な場所で啓発活動や防災訓練が実施されます。

郡上市では、8月31日(日)に高齋小学校、高齋振興事務所一帯において、マグニチュード7・0の直下型地震による大規模災害を想定した大規模現地訓練を実施するほか、各地域においても自主防災会の防災訓練、消防団演習訓練が実施されることがあります。お住まいの自治会(自主防災会)などで実施される防災訓練への積極的な参加をお願いします。

また、8月、9月は台風が最も多く接近、上陸する季節のため、大雨等の浸水被害や、土砂

災害などにも十分注意する必要があります。

大地震や集中豪雨等による大规模災害時には市や消防、警察などの行政機関の対応はすぐに行き届かない場合が予想されます。災害による被害を最小限に抑えるために、非常持出袋の準備や避難ルートの確認等、災害発生時に、速やかに自分の身の安全を守るために行動(自助)



▲昨年、明宝庁舎周辺で行われた大規模現地訓練の様子

**② 地域の危険箇所を知ろう**  
防災の基本は自分達の住む地域を良く知ることです。地域のみんなで話し合い、危険箇所や防災上の問題点を洗い出し、必要に応じて、避難ルートの変更など、安全対策を再確認しましょう。



また、資機材の購入には、市入額の半額・5万円上限)が活用できますので、利用を希望される場合は、総務部総務課ま

が出来るよう準備しましょう。

また、災害時には、地域での助け合い(共助)が大きな力になります。突然起きる災害に対して、迅速・適切な対応をとれるよう、次のような活動を日頃から行い、地域の防災力の向上をめざしましょう。

## 地域の防災力向上 4つのポイント

### ① 防災の知識を深めよう

防災対策は、まず住民一人ひとりが防災に関心をもち、学ぶことが重要です。地域全体で防災の重要性を認識し、防災知識を普及させるため、市職員による出前講座を活用しましょう。また、自主防災会で防災訓練を開催しましょう。

### ③ 防災資機材を備蓄しよう

ヘルメット、マガホン、発電機等の防災資機材は災害発生時に活躍します。地域の実情に応じて、必要な資機材を準備し、点検や使用方法の確認をしておきましょう。



▲八幡町川合西部自治会で行われた防災マップ作りの様子

### ④ 防災マップを作りましょう

また、情報収集や、支え合いの出来る体制を作るために地域全体で話し合い、安心・安全に暮らせる地域づくりをめざしましょう。



□ 問 総務部総務課  
67・1832  
各振興事務所 防災担当